

広域地域組織の二つの類型と発展方向

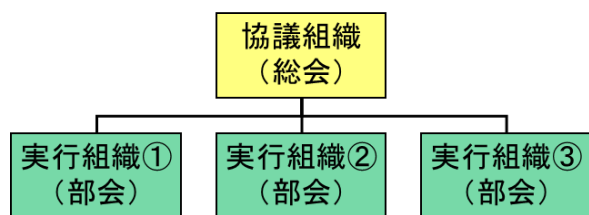
農村地域における人口減少、高齢化等を背景として、地域組織の広域化が進展していますが、現地調査*の結果、「地域マネジメント型」に加え、新たに「地域ネットワーク型」があることがわかりました。

「地域マネジメント型」は、自治会などが連合して形成され、地域課題に総合的・効率的に対処するものです。これに対し、「地域ネットワーク型」は営農組織等が核となり地域に革新性をもたらす活動に取り組みやすいなどの特徴があり、営農活動に関わる諸活動と、教育活動、生活・文化活動との連携も確認されています。地域農業の持続的発展を実現しつつ、新たな農村社会を構築するためには、営農組織等が核となった地域ネットワーク型の広域地域組織への政策的支援を検討することも必要ではないかと考えられます。

* 住民主体による自発的な地域づくりを行う全国 25 地区を調査

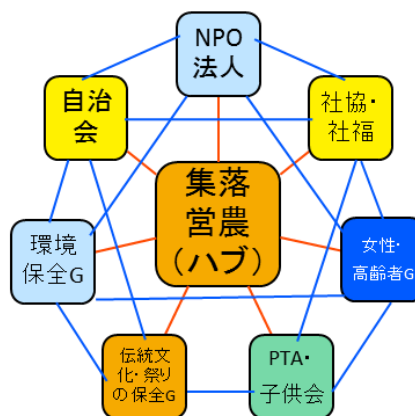
地域マネジメント型

地域課題に**総合的・効率的**に対処する組織



地域ネットワーク型

地域に**革新性**をもたらす組織



地域マネジメント型と地域ネットワーク型の特徴点の比較

	地域マネジメント型	地域ネットワーク型
組織の範囲	小学校区など歴史的・伝統的に形成された地域に 固定	各組織の活動範囲によって地域は 柔軟
人口規模	一定の規模の人口（頭数）が範囲内に必要	範囲が柔軟なので人口規模にとらわれにくい
設立・運営コスト	高い（設立時から自治体による継続的支援が必要）	低い（自生的にネットワークが形成されることも）
活動内容の総合性・効率性	高い（生活・人口問題等がより深刻化している地域）	低い（生活・人口問題等が未だ深刻化していない地域）
活動内容の革新性	低い（これまでの地域活動の維持・継続が主な課題）	高い（これまでの地域活動にとらわれる必要性が低い）
主な課題	組織の規模と組織のまとまりの間に ジレンマ	各組織に 自立できるだけの経営能力や組織体制が必要
代表的事例	長野県飯田市と岐阜県恵那市（地域自治区）、熊本県山都町（自治振興区）、和歌山県（過疎生活圏）	青森県外ヶ浜町農業・農村活性化協議会、青森県弘前市自得地区環境保全会、岩手県奥州市鳴瀬振興組合